

林業用路網に関する補足資料

2017年5月16日
とよた森づくり委員会事務局

2017/5/16

(C)とよた森づくり委員会事務局 2017

林道・作業道・搬出路の概要

	林道	林業専用道	作業道	搬出路
				
事業主体	豊田市	豊田市	豊田森林組合	豊田森林組合
役割	森林内外のアクセスを確保するための恒久的施設。一般車両や木材運搬用のトラック（10トン）が走行可能	林道・公道から林内へ進入するための恒久的施設。維持管理が必要。木材運搬用のトラック（10トン）が走行可能	林道から林内に進入するための路網。定期的な維持管理が必要。小型トラックや高性能林業機械が走行可能	木材生産を行う現場へ進入する、一時利用を目的とした路網。高性能林業機械の走行のみを想定
開設単価	100,000～500,000円/m	20,000～50,000円/m	8,000～10,000円/m	1,000円/m
標準幅員	3.0～5.0m	3.5m	3.0m	2.5～3.0m
工事期間	5～15年	1～3年	1～2年	—
地元負担	事業費の3%	事業費の3%	事業費の3%	なし

2016/08/23

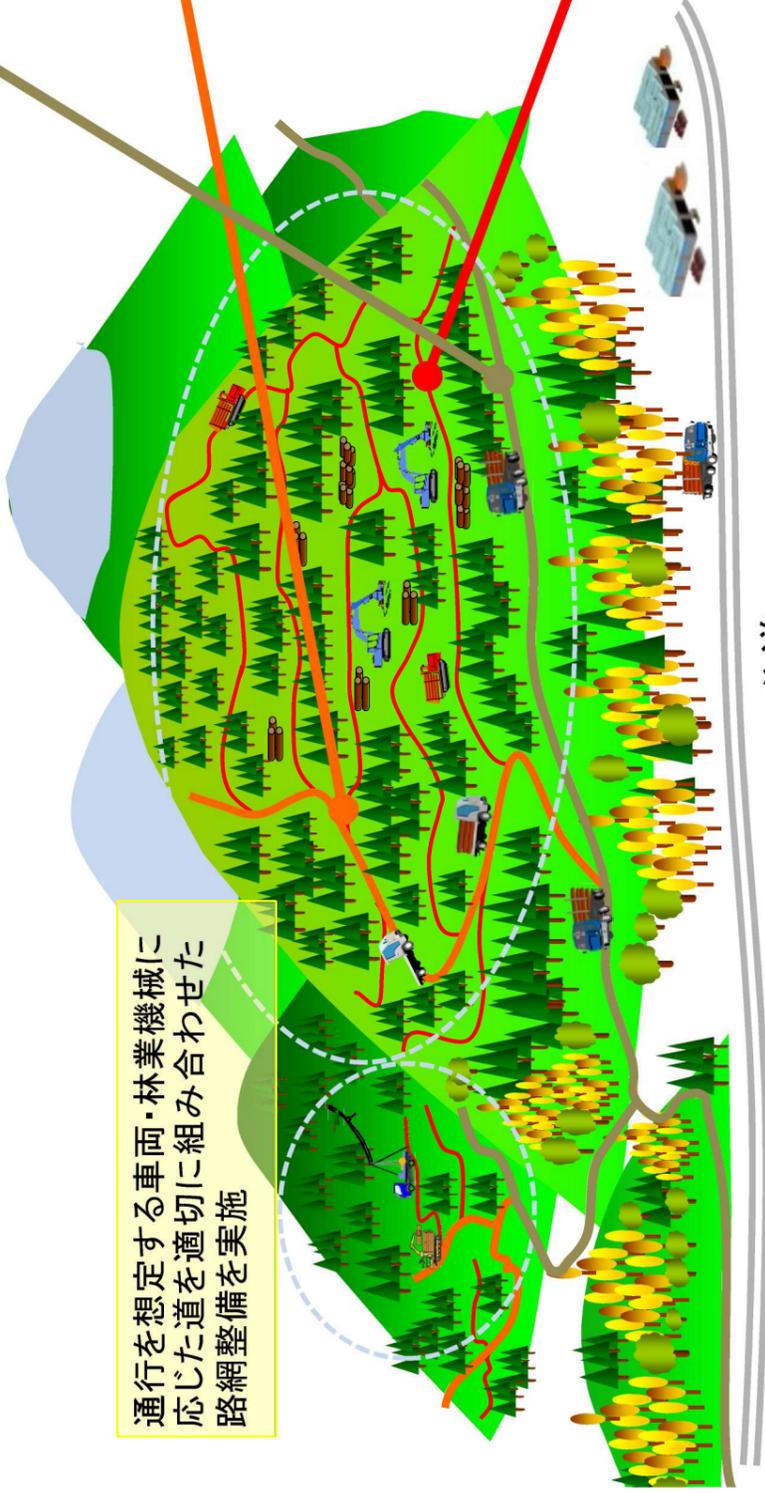
(C) 豊田市森林課・株式会社自然産業研究所 2016

3 丈夫で簡易な道を主体とした路網整備の推進

森林の有する多面的機能を発揮させるとともに、持続的な森林経営の実現に向けて、森林施業を効率的に実施するためには、路網整備を進めていく必要があります。

このため、丈夫で簡易な構造により、長期にわたり使用することができる耐久性と経済性の両立を図りつつ、それぞれの役割に応じた路網整備を支援します。

通行を想定する車両・林業機械に応じた道を適切に組み合わせた路網整備を実施



公道

4 ○効率的な森林の整備や地域産業の振興等を図る林道

- ・原則として不特定多数の者が利用可能な恒久的公共施設
- ・セミトレーラーの車両の通行を想定
- ・一般車の通行も想定し安全施設を完備



○専ら森林施業に利用され、木材輸送機能を強化する林道（林業専用道）

- ・主として森林施業を行うために利用される恒久的公共施設
- ・10t積程度のトラックや林業用車両（大型ホイールフォワード等）の走行を想定した道づくり
- ・必要最小限の規格・構造を有する丈夫で簡易な道



○導入する作業システムに対応し、森林整備を促進する森林作業道

- ・森林所有者や林業事業者など、特定の者が森林施業を行うために利用
- ・主として林業機械（2t積程度の小型トラックを含む）の走行を想定した道づくり
- ・経済性を確保しつつ丈夫で簡易な構造とすることが特に求められる



丈夫で簡易な道の開設方法

路網整備と高性能林業機械を組み合わせた作業システムの導入

路網整備に当たっては、導入する高性能林業機械の性能を最大限発揮させるため、合理的に路網を配置し、素材生産の工程全体を通じて生産性を高める必要があります。なお、最適な作業システムは、地形・地質、土質等の自然条件等に応じて多様なものが想定され、下に示すのはその一例です。



伐採・造材

ハーベスタ

集材

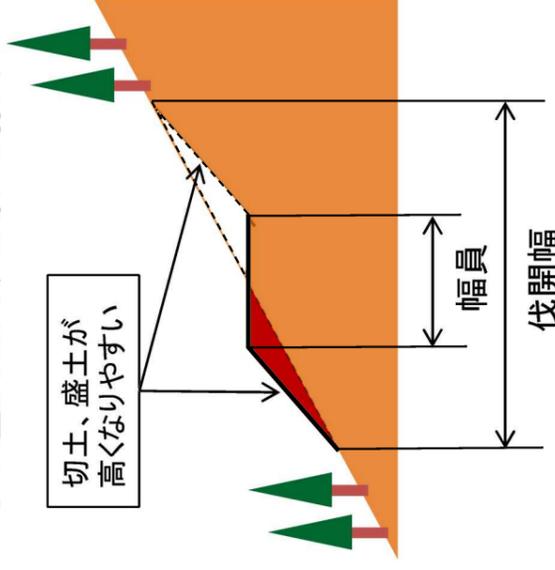
フォワード

運搬

大型トラック

従来の道

（土工量が大きく、雨等にも弱い）



丈夫で簡易な道

（土工量が少なく、安定している）

